

活 動 概 要 書

ふりがな	つきみだいじちかい・つきみだいまちづくりいいんかい
団体名称	月見台自治会・月見台まちづくり委員会

活動の 方針・内容	<p>月見台の誕生以来、地域住民が協働してまちづくりを進めてきました。これまでの取り組みを継承・発展させ、「いつまでも安心して住み続けられるまち」を育てていきます。</p> <p>(1) 地域の人々が支えあい、高齢者が末長く暮らし続け、子育てのしやすいまちをめざす。</p> <p>(2) 優れた居住環境を保ちつつ、多世代が住む、安全で潤いのあるまちをめざす。</p> <p>(3) 地域のコミュニティ力を継承・発展し、“月見台文化”を創造する。</p>
団体設立 の経緯	<p>2005年8月、都市計画マスタープラン多摩区構想策定の経過で、月見台自治会がヒアリングを受けたことをきっかけに、マスタープランに掲げられた「身の丈のまちづくり」を実践するため、自治会に活動を提案し、委員会が発足。</p> <p>・当団体の活動内容は、地区まちづくりグループ登録又は地区まちづくり組織認定の要件に反するものではありません。</p>
活動の経過	<ul style="list-style-type: none"> ●2005年度：月見台まちづくり委員会発足。全世帯住民アンケートを実施。 ●2006年～2007年度：住民意向アンケートの結果に基づき、まちづくりプランの検討を開始。07年10月に、「月見台まちづくりプラン」を策定。まちづくりの将来像と方針、まちづくりのルールを定める。プラン策定と並行して、近隣4自治会と地域コミュニティ交通プロジェクトを発足させる。 ●2007年度：「地域緑化推進地区」指定に向けて「地域緑化計画」づくりの検討を開始。09年4月策定。 ●2008～2009年度：市民活動支援センターの助成を受け、「地域防災マニュアル」の検討を開始。09年度には、マニュアルをまとめ、実践訓練を実施。 ●2010年以降、3月の防災訓練、8月の子ども夏祭りなどの活動を継続。花壇やプランターの維持管理の緑化ボランティア活動を継続中。 ●2011年度には、「月見台まちづくりプラン」の振り返りのワークショップを開催し、プラン進捗状況の評価を行う。 ●2016年度：まちづくりプランの改定を行うために、10年ぶりに全世帯アンケートを実施。 ●2017年度：9月まちづくりプラン見直しワークショップ、3月空き家を考えるミニフォーラム マンション建設計画に対して、「まちづくりルール」に基づく環境配慮を要請。地域住民の意見を取り入れた内容に変更される。 ●2018・2019年度：月見台6丁目公園で「まちづくりカフェ」を開催。 ●2020年度：地区内でのワンルームマンション建設計画に対して、「まちづくりルール」に基づく環境配慮を要請。

●2021 年度：コロナの感染蔓延によりまちづくり委員会の活動はほぼ全面的に休止に追い込まれた。

5 月 街カフェ

7 月 盆踊り大会

8 月 子ども夏祭り

9 月 秋の防災訓練

12 月 餅つき大会

3 月 春の防災訓練

●但し、生田小学校の朝の登校見守り活動は中断することなく、登校がある日は天候にかかわらず実施した。

16 名が分担をして実施しているが、そのうち 10 年以上参加している 7 名に対して生田小学校長名で感謝状を授与した。

●2022 年度もコロナ禍は続いたが、徐々に「ウイズコロナ」の考え方が広がり、感染対策を十分にした上で極力活動を再開するようになった。

9 月 秋の防災訓練 赤十字より講師を招き救急看護の訓練を実施した。三角巾の使い方は大変参考になった。参加者 20 名

●生田小学校の朝の登校見守り活動は継続的に実施した。